

金属用 変性アクリル系接着剤 AC-500

速硬化形

AC-500は硬化速度の速い、金属と金属用の接着剤です。折板屋根、ダクト、保温・保冷タンクへのスピンドル鉤の接着に適しています。
-50℃から120℃までの厳しい環境下で優れた性能を発揮します。



アクリル樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

危険物第二類引火性固体 危険等級Ⅲ

容 量		包装形態	梱包単位
300gセット	A剤 150g	チューブ	1セット入箱 ×10
	B剤 150g		

用 途

適用箇所	屋内
適用下地	折板屋根、ダクト、保温・保冷タンクなどの金属面
適用仕上げ材	スピンドル鉤、アンカーボルト、アンカーナットなど

注) コンクリート、モルタル、ボード下地など多孔質材料への接着、及びポリプロピレン、ポリエチレンなどの接着には使用できません。

標準使用量

0.7g/本(スピンドル鉤の場合)

性 質

	A 剤	B 剤
外 観	淡白色 粘稠液	銀色 粘稠液
主 成 分	アクリル樹脂	アクリル樹脂
混合比(重量比)	A剤：B剤=1：1	
硬 化 時 間	30分/23℃	
硬 化 後 の 対 応 環 境 温 度	-50～120℃	

使用方法

■仮接着(ハニームーンシステム)

A剤とB剤を別々(下地材と被着材)に塗布し、張り合わせる使用方法。

■永久接着(ミキシングシステム)

A剤とB剤を混合後、塗布して張り合わせる使用方法。

【接着面の確認】

1. 接着面のゴミ・油・サビなどは接着不良の原因となりますので取り除きます。
2. 接着面をよく乾燥させます。

【接着剤の塗布と圧着】

◆仮接着(ハニームーンシステム)として使用する場合

A剤とB剤を別々(下地材と被着材)に塗布し、張り合わせ後よくもみ込みます。

◆永久接着(ミキシングシステム)として使用する場合

A剤とB剤を1：1(重量比)の割合でしぼり出し、よく混ぜ合わせます。その後、接着面に塗布しすぐに張り合わせ十分に圧着します。

チェック：一度に多量を混ぜ合わせると急激に発熱しますので注意して下さい。

【養 生】

接着剤が硬化するまで[永久接着(ミキシングシステム)の場合は約15分、実用強度は約30分/23℃]外力が加わらないように養生します。

取り扱い上の注意事項

AC-500を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 接着用途以外に絶対に使用しないで下さい。
- 本製品は屋内の冷暗所に場所を定めて保管して下さい。
- コンクリート、モルタル、ボード下地など多孔質材料への接着、及びポリプロピレン、ポリエチレンなどの接着には使用できません。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。(指定のA剤とB剤を使用して下さい)
- 取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 接着剤は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起こすことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。
- 使用後はキャップで密栓して18℃以下で保管して下さい。

AC-500

- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気の良い場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- AC-500をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意

A剤



可燃性あり



有害性あり



皮膚刺激性あり



火気厳禁



吸入注意



接触注意

B剤



可燃性あり



有害性あり



皮膚刺激性あり



火気厳禁



吸入注意



接触注意

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010	

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イイズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1906Mac02